

藤村大使の 学術文化スポーツ施設訪問

2019年4月24日

4月16日、藤村大使は、国際政治研究所（CIPI）を訪問し、日本とキューバの関係について講演を行いました。講演にはキューバ政府職員やアジア・日本研究者など約25名が参加しました。

[講演の概要はこちらをクリックして下さい。](#)



4月17日、藤村大使は旧市街にあるプラネタリウムを訪問しました。この施設は、日本が文化無償資金協力としてハバナ歴史事務所に対し機材を供与し、2009年12月に開館したものです。同施設では、大使はハバナ歴史事務所のミチャエル・ゴンザレス文化遺産局長及びプラネタリウムのタイミ・ガルシア館長と共に、供与機材の映し出す星空と宇宙を確認しました。また、大使は旧市街でハバナ市博物館（旧総督官邸）と500年前にハバナ設立が制定された場所に立つテンプレートも訪れました。

4月23日、藤村大使はマヌエル・ファハルド国立体育大学を訪問し、エクトル・ノア学長他大学の方々の歓迎を受けました。まず、「キューバ合気の武道」プロジェクトによる居合術の形が披露された後、同プロジェクトの大学緑化運動の一環として大使訪問の記念の植樹がなされました。次いで、大使はノア学長他と、キューバの体育大学の位置付け、体育教育及びスポーツ指導者の育成、東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み等について意見交換をし、大学構内を見学しました。



広報文化班
在キューバ日本国大使館
電話: (+53) 7204-3355, 7204-8904
メールアドレス: cultura@hv.mofa.go.jp
www.cu.emb-japan.go.jp
https://web-japan.org/index_es.html